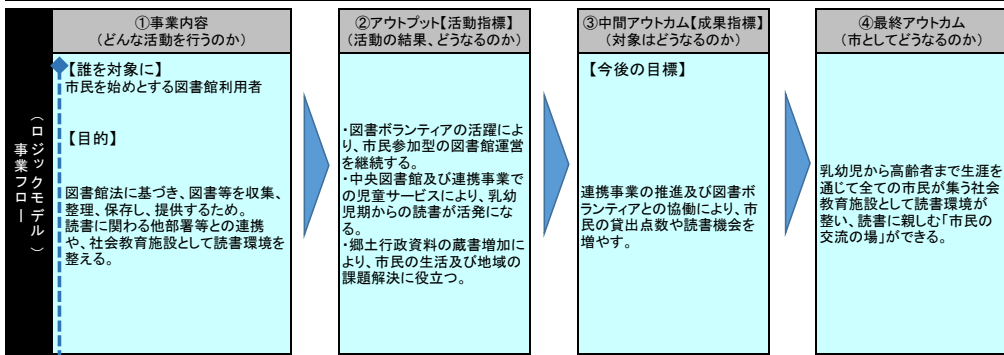


長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	56	事業名	中央図書館事業	担当部課	教育部中央図書館
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち	決算書 ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進	会計 区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)		
	その他(関係計画、要綱等)	有	図書館法、第3次長久手市子ども読書活動推進計画	9-4-4 図書館費	
	事業開始の背景、経緯等	市民の読書活動を支える場として、平成4年に開館した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
事業費(A)	千円	予算	97,375	97,548	94,584	93,913	99,432
		決算	94,146	150,717	92,672	102,609	-
人件費(B)	千円	決算	56,601	61,443	61,340	62,735	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	150,747	212,160	154,012	165,344	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		85,455	84,036	83,399	83,003	83,100
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		2	2	2	2	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】 R4年度実績		【目標①】 R5年度実績		【目標②】 R6年度実績	
市内利用者の貸出点数 (指標の設定根拠)	点	333,308		333,500		336,800	
(指標の設定根拠)		(数値目標の根拠: 調査名、調査年など出典)					
長久手市民への個人貸出の貸出総点数の増減が、長久手市民の利用状況を端的に表しているため。		目標①: (R5想定人口) × (R1・R3・R4の市民一人あたりの貸出点数の平均値の1%増) = 61,200 × 5.45% = 333,500点 目標②: 目標①の1%増 = 333,500 × 1.01% = 336,800点					

事業開始からの経緯など	令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や開館時間短縮等により貸出点数が減少していたが、令和4年度は通常開館に戻り来館者が増え、貸出冊数は回復し、目標値310,000点に対して7.5%の増加となった。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・感染症対策のために実施していた館内の机・イスの削減、貸館の人数制限などを徐々に解除し、来館者数回復につなげた。 ・開館30周年として記念しおり配布、ワークショップや記念展示などを実施した。 ・ジブリパークや大河ドラマなど、話題性のあるテーマの本の展示やそのPRを実施した。 ・図書修理ボランティアの活動が順調で、前年度より約900冊増加した。(R3 1,500冊→R4 2,390冊) (改善が必要な点、改善の方法など)
改善ポイント	令和6年4月からカウンター窓口等一部業務委託の実施により人員体制が変わるため、現業務の棲み分けや他部署との連携事業の進め方など、業務内容の調整が必要。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 令和6年4月からカウンター窓口等一部業務委託導入を前提に図書館の運営を進めていながら、当館の特色でもある充実した図書館ボランティアとの協働体制で市民参加型の図書館運営を継続していく。 令和4年度に策定した第3次子ども読書活動推進計画に基づき、児童の読書の習慣化を促し、貸出数を増加させ、子育て世代の多い市の特性に即した図書館づくりを継続していく。
--------	--

事務事業①	中央図書館運営事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込	100	110	110	110	110	
		実績	109					
(2) 【アクションプラン】中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】	冊	見込	150,000	151,000	151,000	151,000	151,000	
		実績	139,584					
(3) 【アクションプラン】郷土資料等の資料数【累計】	冊	見込	8,600	8,800	9,150	9,250	9,350	
		実績	9,115					
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022))> ・図書修理・返本書架整理ボランティアは、人数や時間を制限して開館日に随時参加。長期活動しているボランティアから新人ボランティアへ技術伝達するなどコミュニケーションを取りながら活動している。 ・ボランティアによる読み聞かせイベントを月2回増加し、参加者数が増加している。 ・感染症対策により前年度はWebからの再貸出を無制限にし貸出が多かったため、R4年度は前年比約2%減少した。 ・郷土資料は前年度から222冊増加。							今後の方向性	改善・見直し
							コスト投入	現状維持

事務事業②	中央図書館運営事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事務事業③	中央図書館運営事業							
活動指標	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
(1) 運営に携わる市民の人数	人	実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 令和6年4月からカウンター窓口等一部業務委託導入を前提に図書館の運営を進めていながら、当館の特色でもある充実した図書館ボランティアとの協働体制で市民参加型の図書館運営を継続していく。 令和4年度に策定した第3次子ども読書活動推進計画に基づき、児童の読書の習慣化を促し、貸出数を増加させ、子育て世代の多い市の特性に即した図書館づくりを継続していく。
--------	--